

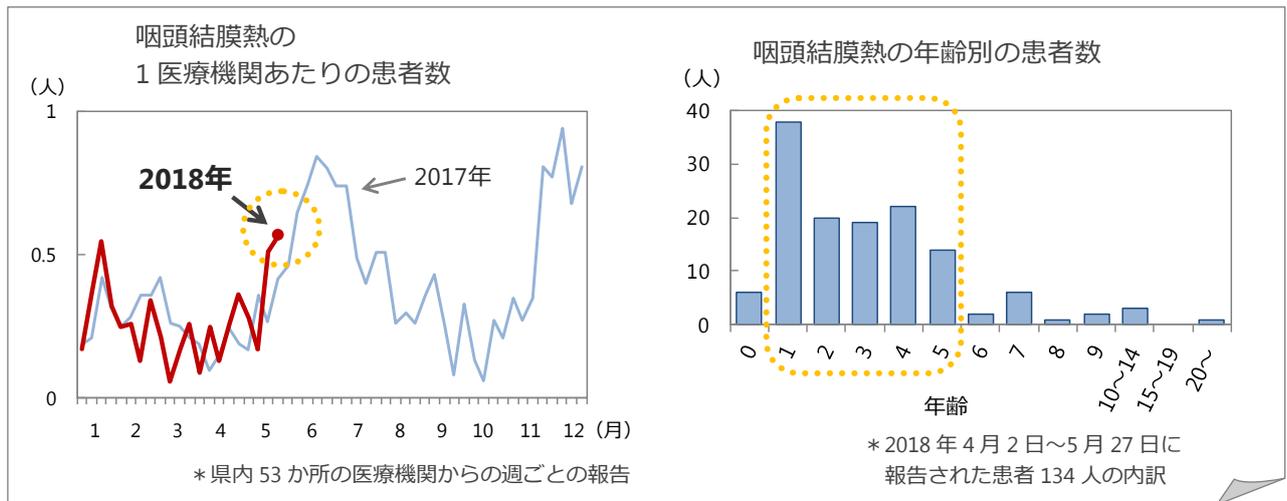
ぎふ感染症かわら版

平成 30 年 6 月 1 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



咽頭結膜熱（プール熱）に注意しましょう！

咽頭結膜熱は、プール熱とも呼ばれる夏かぜの一つで、初夏と冬に流行がみられます。昨年は県内で、初夏（6～7月）冬（12月）ともに大きな流行となりました。今年も5月半ば時点で、患者の増加がみられていますので、これから注意が必要です。



どんな病気？

アデノウイルスによって起こる感染症で、5歳以下のお子さんに多くみられます。

感染してから5～7日後に、**発熱（39℃前後）**、のどの炎症（咽頭炎）による**のどの痛み**、目の炎症（結膜炎）による**目の充血や痛み**などの症状があらわれます。



どう感染するの？ 予防方法は？

原因となるアデノウイルスは、感染した人の鼻水や唾液、目やに、便の中に含まれます。咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、手指を介した**接触感染**により**鼻やのど**、**目からウイルスが入り感染**します。

感染力が強く、ドアノブやタオルを介して感染が広がることもあります。

昔はプールの水を介して流行しましたが、現在は塩素消毒の効果で、プールで感染が広がることはほとんどありません。



予防には、**石けんを使った手洗い**が大切です。特に流行時期は、こまめな手洗いを心がけましょう。また、タオルは他の人と一緒に使わないようにしましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

